【御所ダム】春を告げる桜の開花とダム放流

～　３５年目にダム頂部クレストゲート４門からの放流（26m3/s）を実施　～

１．実施日時：平成２８年４月２３日（土）
　　　　　　　　　　　１３：００～１５：００
２．内　　　容：クレストゲート４門からの点検放流
３．放流見物者数：　５０名程度

ゲート放流前

当日の見学者状況

頂部ゲートから放流

北上川統合管理事務所　盛岡市内２つのダム

国交省北上川ダム統合管理事務所は23日、盛岡市繋の御所ダムで、ダム頂部クレストゲートの放流を行った。御所ダムで同ゲートの放水を行うのは、1981（昭和56）年の完工から初めて。同市上田松屋敷の四十四田ダムでも同様に放流が行われ、訪れた人は、ダムの下の立ち入り禁止区域から流れる水を眺めた。

同ゲートの放流は、近年全国で発生している大災害に備えたゲート稼働の操作手順を確認するため行った。13年8月の豪雨災害では同ゲートを開放せず、盛岡市など市街地を流れる河川の水位上昇を防いでいた。

同ゲートは、ダムの貯水計画規模を超える洪水が発生した場合のみ開放。通常はダムの下部のオリフィスゲートから放流し河川に流れる水量を調節する。

同日は四つのクレストゲートから放流。放水量は合計毎秒約26㌧。約35年ぶりに開放された同ゲートから、勢いよく水が流れ出た。

御所湖畔にある盛岡手づくり村では、満開のサクラを見ようと多くの家族連れが訪れていた。館内放送を聞いた人らは、ダムの放流とサクラを見ようとダムの下に歩いた。

福島県福島市から来た公務員の鈴木[illegible]子さん（44）は「普段は立ち入り禁止の場所から見ることができ感激した。ダムの下から見ることもめったにないことなので、来たかいがあった」と感動した。

山田光雄副所長は「市街地に近い御所ダムと四十四田ダムは、何度も街を洪水から守ってきた。ダムの周りは人々の憩いの場でもある。地域に愛され頼れるダムとして、今後もしっかりと管理していきたい」と述べた。

35年ぶりに放流した御所ダムのクレストゲート

盛岡タイムス（６面）　H28.4.25（日）

＜　実　施　結　果　＞

●隣接する観光施設「盛岡手作り村」でも来訪者に放流を案内頂き、ダムの学習施設「ものしり館」では普段の約３倍の来場者が訪れました。

●見学者からは「普段見られない場所から見学出来て感激した」等の声も聞かれました。